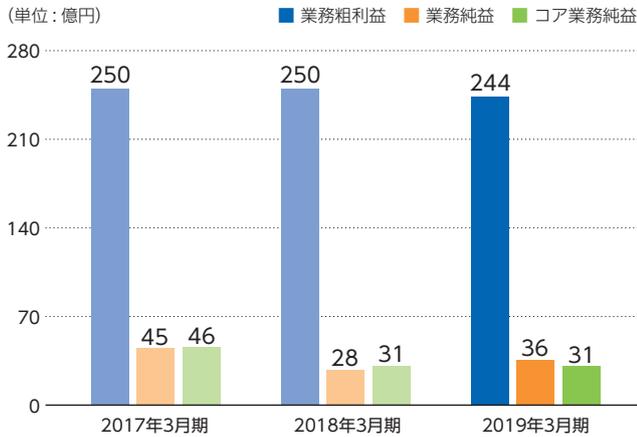


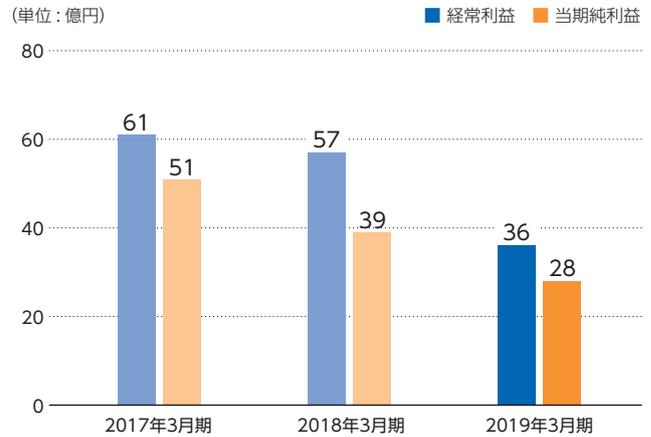
# 2019年3月期の決算についてお知らせします。

## ■ 主要損益の状況

### 業務粗利益・業務純益・コア業務純益〈単体〉

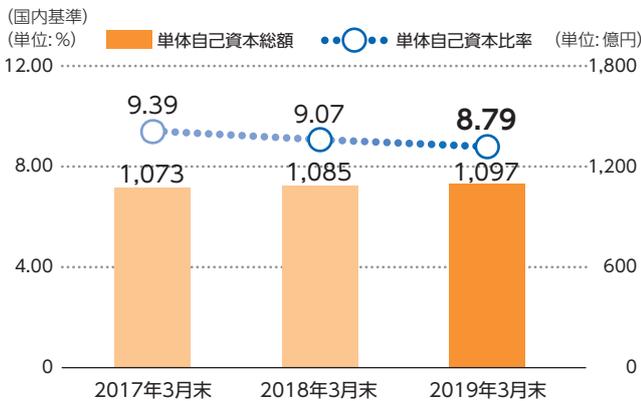


### 経常利益・当期純利益〈単体〉



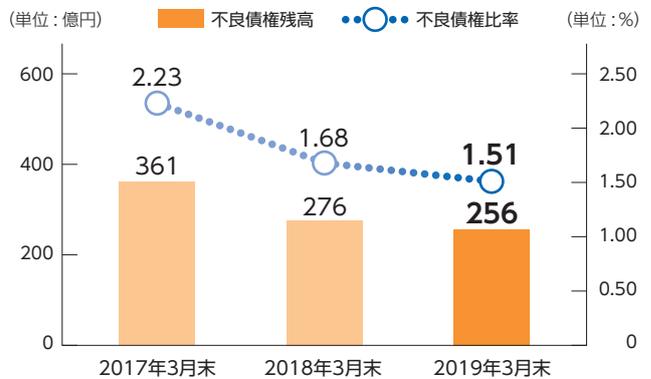
業務粗利益は、貸出金利息や有価証券配当金の減少を要因として、前期比減益となりました。  
 業務純益は、経費の減少や債券関係損益の増加により、前期比増益となりましたが、コア業務純益は、業務粗利益の減少の影響が大きく、前期比減益となりました。  
 経常利益及び当期純利益は、コア業務純益の減少に加え、与信関係費用の増加などから、前期比減益となりました。

## ■ 自己資本比率〈単体〉



2019年3月末の単体自己資本比率は貸出金の増加を主因としたリスクセットの増加により8.79%と前期比低下しておりますが、健全性を十分に確保しています。

## ■ 不良債権



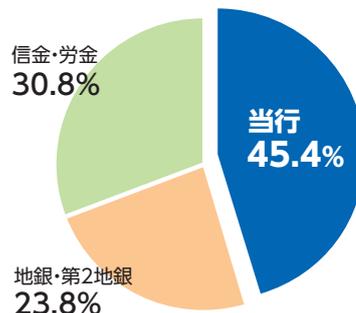
2019年3月末の不良債権残高は、お取引先の経営改善のお手伝いや不良債権処理を進めたことで前年度末比20億円減少し、256億円となりました。  
 また、総与信に占める割合は、前年度末比0.17ポイント改善して1.51%となりました。

## ■ 預金・貸出金シェア

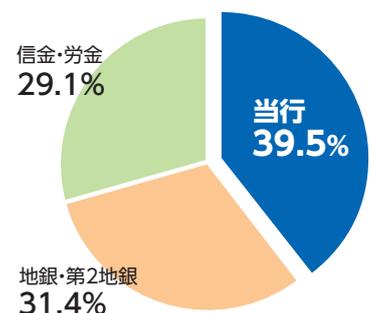
(2019年3月末現在)

お客さまからの高い信頼に支えられて、福井県内において、福井銀行は、預金・貸出金ともにトップシェアを保っております。引き続き、地域のみなさまから信頼される銀行を目指してまいります。

### 福井県内の預金シェア



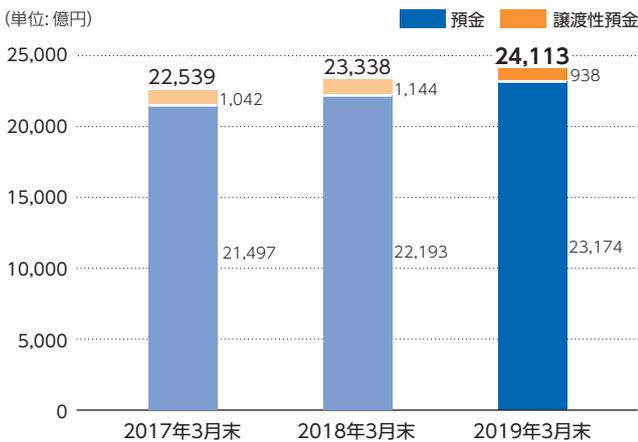
### 福井県内の貸出金シェア



## ■ 預金等残高・預り資産残高

### 預金等

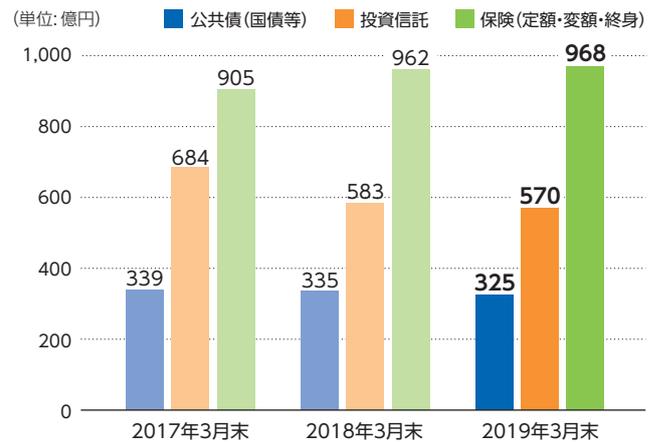
(単位: 億円)



譲渡性預金を含む預金等は、法人・個人・金融が増加したことから、全体で期中775億円増加し期末残高は2兆4,113億円となりました。

### 預り資産

(単位: 億円)



公共債(国債等)は、期中10億円減少し期末残高は325億円となりました。投資信託は期中13億円減少し期末残高は570億円となりました。保険(定額・変額・終身)は、期中6億円増加し期末残高は968億円となりました。

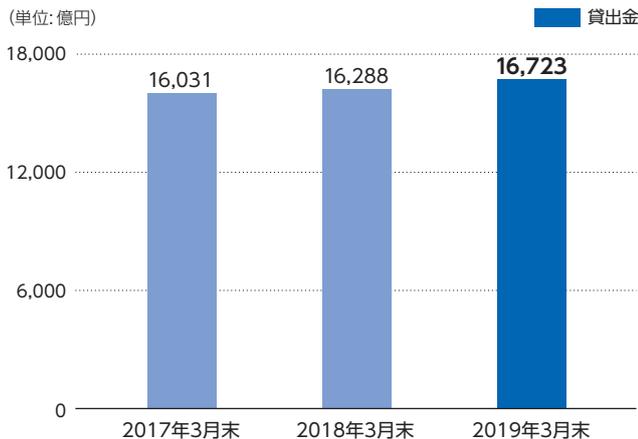
公共債(国債等): 額面ベース 投資信託: 純資産残高ベース(口数×基準価額÷1万円)

保険(定額・変額・終身): 払込保険料の合計額

## ■ 貸出金残高・消費者ローン残高

### 貸出金

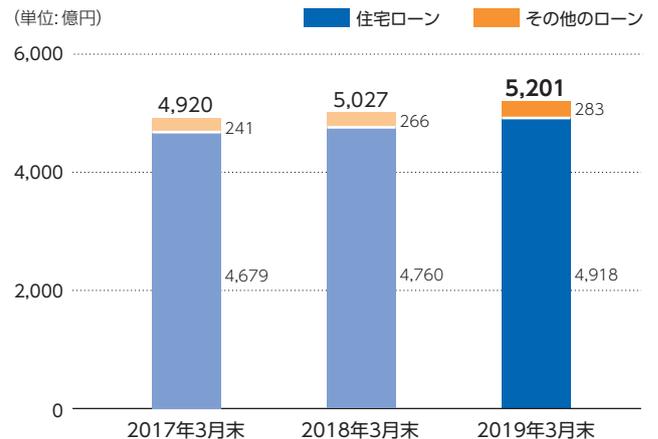
(単位: 億円)



貸出金は、消費者ローンを含む中小企業等向け貸出が増加したことから、期中435億円増加し期末残高は1兆6,723億円となりました。

### 消費者ローン

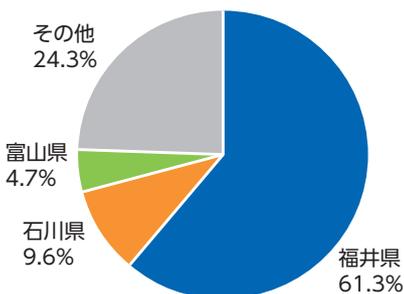
(単位: 億円)



消費者ローンは、期中174億円増加して期末残高は5,201億円となりました。うち住宅ローンは、期中158億円増加して期末残高は4,918億円となりました。

## ■ 貸出金の地域別内訳・中小企業等向け貸出金

### 貸出金残高の地域別内訳

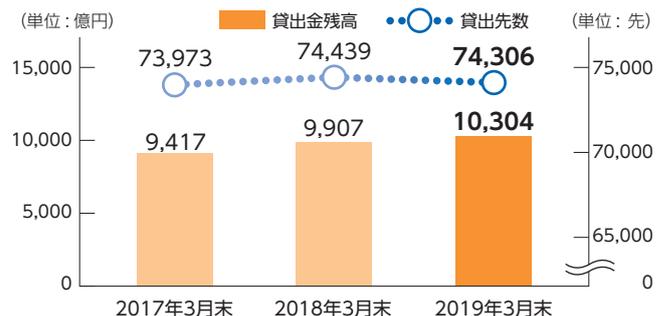


2019年3月期	(単位: 億円)
福井県	10,249
石川県	1,611
富山県	793
その他	4,070
合計	16,723

北陸3県内での貸出金は1兆2,653億円、(うち福井県内10,249億円)であり、貸出金全体の75.6%(うち福井県内61.3%)となっております。

### 中小企業等向け貸出金

(単位: 億円)



中小企業等向け貸出金残高は期中397億円増加し1兆304億円となり、総貸出金残高の61.6%となりました。また、貸出先は、期中133先減少し74,306先となりました。